

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2029年1月5日まで（2009年1月16日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、日本を除くアジア諸国・地域とパシフィック諸国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	日本を除くアジア諸国・地域とパシフィック諸国のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 日本を除くアジア諸国・地域とパシフィック諸国のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし分散投資を行います。 ソブリン債券・準ソブリン債券からの安定した利子収入の確保および信託財産の成長を目指して運用を行います。 	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への実質投資は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。 同一通貨への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の30%以内とします。 同一国・地域が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の30%以内とします。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 同一通貨への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の30%以内とします。 同一国・地域が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の30%以内とします。
分配方針	毎月7日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

アジア・パシフィック・ソブリン・オープン（毎月決算型）

第167期（決算日：2023年2月7日）
 第168期（決算日：2023年3月7日）
 第169期（決算日：2023年4月7日）
 第170期（決算日：2023年5月8日）
 第171期（決算日：2023年6月7日）
 第172期（決算日：2023年7月7日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「アジア・パシフィック・ソブリン・オープン（毎月決算型）」は、去る7月7日に第172期の決算を行いましたので、法令に基づいて第167期～第172期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

ここに当期間の運用状況をご報告申し上げます。

■運用のポイント

- 多くの中銀が利上げを行ったことにより金利水準が上昇したことやインフレ率が安定化してきたことなどから、通貨と債券価格の上昇や利息収入が期待できると判断し、運用を行いました。
- 相対的に高金利通貨であるインドやインドネシアなどの債券組入比率を高く維持し、安定的な利息収入の確保をはかりました。
- インドネシアでは、金利水準が上昇していたことや経常黒字が継続していること、インフレ率が低下傾向にあることなどから、インドネシアの通貨と債券の組入比率を高く維持しました。
- インドでは、資源価格の安定などによりインフレ率が低下してきたことから、通貨が安定的に推移すると期待し高金利通貨であるインドルピーの組入比率を引き上げました。
- 各国で行動制限などが解除され、主要産業である観光業が回復傾向にあるタイ・バングラデシュの通貨組入比率を高く維持しました。
- 各国のファンダメンタルズの違いなどに注目して、アジア諸国・地域とパシフィック諸国の債券市場に分散投資することで投資成果が得られるように取り組みました。

■今後の運用方針

- 相対的に金利水準の高いインドネシアルピア建てやインドルピー建てなどの債券組入比率を高く維持し、安定的な利子収入の確保を目指します。
- 相対的に高金利通貨であるインドネシアやインド、観光業が回復傾向にあるタイなどの通貨組入比率を高めとする予定です。



債券運用部
エグゼクティブ・ファンドマネージャー
樋口 達也

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			(参 考 指 数) アジア・パシフィック国債インデックス		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 期 金 騰 落	中 期 騰 落 率	(円ベース)			
143期(2021年2月8日)	円 7,545	円 30	% 1.0	23,586	% 0.9	% 96.7	% 0.2	百万円 8,610
144期(2021年3月8日)	7,464	30	△0.7	23,432	△0.7	95.8	△1.2	8,398
145期(2021年4月7日)	7,489	30	0.7	23,580	0.6	96.5	△1.2	8,390
146期(2021年5月7日)	7,501	20	0.4	23,834	1.1	95.9	0.1	8,340
147期(2021年6月7日)	7,534	20	0.7	24,011	0.7	97.1	0.1	8,219
148期(2021年7月7日)	7,441	20	△1.0	23,830	△0.8	96.2	△0.0	8,025
149期(2021年8月10日)	7,416	20	△0.1	23,789	△0.2	96.7	0.9	7,901
150期(2021年9月7日)	7,454	20	0.8	23,979	0.8	94.6	3.0	7,872
151期(2021年10月7日)	7,351	20	△1.1	23,624	△1.5	95.7	1.3	7,688
152期(2021年11月8日)	7,482	20	2.1	24,123	2.1	96.1	1.3	7,659
153期(2021年12月7日)	7,345	20	△1.6	23,830	△1.2	95.1	1.5	7,378
154期(2022年1月7日)	7,466	20	1.9	24,258	1.8	95.5	1.3	7,425
155期(2022年2月7日)	7,349	20	△1.3	24,016	△1.0	93.9	2.1	7,258
156期(2022年3月7日)	7,292	20	△0.5	23,925	△0.4	94.6	0.5	7,155
157期(2022年4月7日)	7,653	20	5.2	25,101	4.9	95.3	0.4	7,391
158期(2022年5月9日)	7,566	20	△0.9	25,027	△0.3	95.3	△0.3	7,210
159期(2022年6月7日)	7,687	20	1.9	25,544	2.1	96.0	△0.4	7,244
160期(2022年7月7日)	7,662	20	△0.1	25,463	△0.3	95.7	△2.1	7,123
161期(2022年8月8日)	7,752	20	1.4	25,952	1.9	95.5	△2.1	7,096
162期(2022年9月7日)	7,912	20	2.3	26,421	1.8	94.6	—	7,190
163期(2022年10月7日)	7,638	20	△3.2	25,645	△2.9	95.6	—	6,828
164期(2022年11月7日)	7,668	20	0.7	25,865	0.9	94.5	—	6,808
165期(2022年12月7日)	7,658	20	0.1	25,970	0.4	95.4	—	6,729
166期(2023年1月10日)	7,510	20	△1.7	25,633	△1.3	95.6	—	6,545
167期(2023年2月7日)	7,633	20	1.9	26,247	2.4	96.7	—	6,610
168期(2023年3月7日)	7,548	20	△0.9	26,071	△0.7	96.6	—	6,521
169期(2023年4月7日)	7,546	20	0.2	26,088	0.1	95.3	—	6,485
170期(2023年5月8日)	7,762	20	3.1	26,918	3.2	96.1	1.5	6,634
171期(2023年6月7日)	7,824	20	1.1	27,219	1.1	95.4	2.4	6,609
172期(2023年7月7日)	7,942	20	1.8	27,730	1.9	94.5	3.5	6,695

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックス（シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾、タイ、オーストラリア、ニュージーランド、中国）の基準日前営業日の各指数とJ.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）の基準日前営業日指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ等ウェイトで合成し、当ファンド設定日を10,000として指数化したものです。なお、2022年8月1日以降、参考指数の国別サブインデックスの内、台湾を外し中国を追加して連続させて指数化しています。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE

Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J.P. Morgan GBI-EM Broad India（インド・ルピー建て、ヘッジなし）：情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) アジア・パシフィック国債インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第167期	(期 首) 2023年1月10日	円 7,510	% —	25,633	% —	% 95.6	% —
	1月末	7,619	1.5	26,117	1.9	96.5	—
	(期 末) 2023年2月7日	7,653	1.9	26,247	2.4	96.7	—
第168期	(期 首) 2023年2月7日	7,633	—	26,247	—	96.7	—
	2月末	7,558	△1.0	26,026	△0.8	96.8	—
	(期 末) 2023年3月7日	7,568	△0.9	26,071	△0.7	96.6	—
第169期	(期 首) 2023年3月7日	7,548	—	26,071	—	96.6	—
	3月末	7,624	1.0	26,296	0.9	95.9	—
	(期 末) 2023年4月7日	7,566	0.2	26,088	0.1	95.3	—
第170期	(期 首) 2023年4月7日	7,546	—	26,088	—	95.3	—
	4月末	7,639	1.2	26,424	1.3	95.8	1.5
	(期 末) 2023年5月8日	7,782	3.1	26,918	3.2	96.1	1.5
第171期	(期 首) 2023年5月8日	7,762	—	26,918	—	96.1	1.5
	5月末	7,806	0.6	27,102	0.7	95.7	2.4
	(期 末) 2023年6月7日	7,844	1.1	27,219	1.1	95.4	2.4
第172期	(期 首) 2023年6月7日	7,824	—	27,219	—	95.4	2.4
	6月末	8,045	2.8	27,979	2.8	93.3	2.6
	(期 末) 2023年7月7日	7,962	1.8	27,730	1.9	94.5	3.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

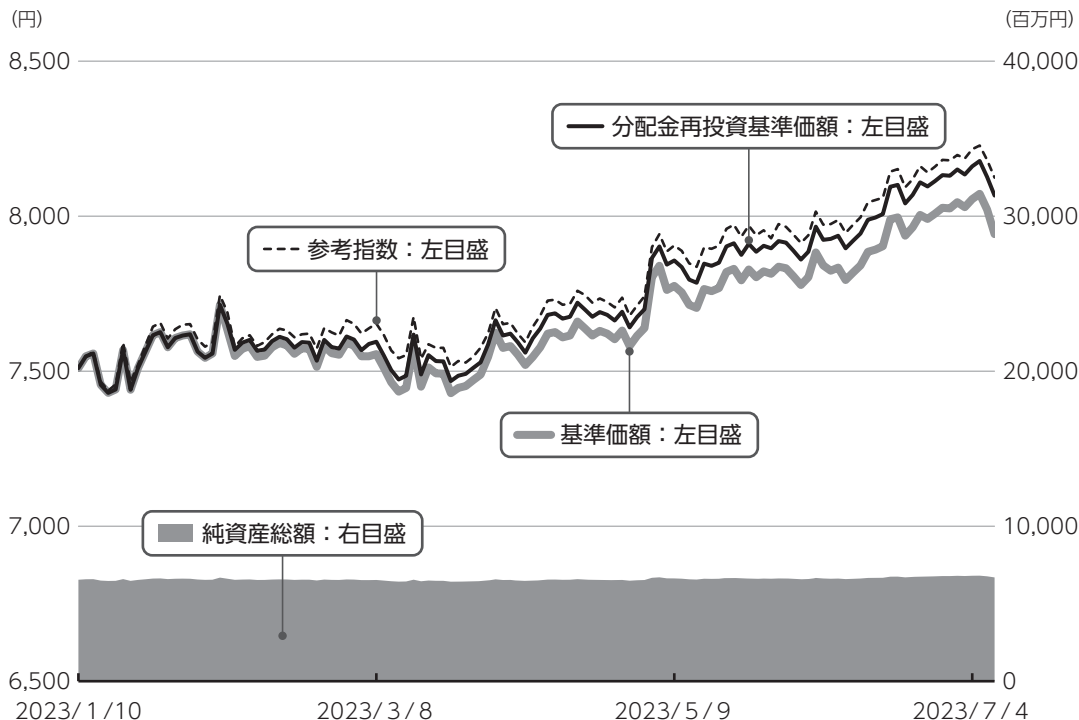
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第167期～第172期：2023年1月11日～2023年7月7日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第167期首	7,510円
第172期末	7,942円
既払分配金	120円
騰落率	7.4%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ7.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

全ての投資通貨が対円で上昇したことやインドネシアの金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

シンガポールやニュージーランド、オーストラリアなどの金利が上昇したことが、基準価額の下落要因となりました。

第167期～第172期：2023年1月11日～2023年7月7日

▶ 投資環境について

▶ 債券市況

投資対象国・地域の金利はまちまちな動きでした。

インドネシアでは、インフレ率が低下傾向にあり、中銀が2023年1月に利上げを行った後、政策金利を維持したことなどから、金利は低下しました。

タイでは、中銀が利上げを行ったことや観光業の回復などから景気回復期待が高止まり、金利は上昇しました。

オーストラリアでは、物価の高止まりにより中銀が利上げを継続したことなどから、金利は上昇しました。

▶ 為替市況

投資対象国・地域の通貨は対円で上昇しました。

インドネシアルピアは、インフレ率が低下傾向にあり、経常収支の黒字が継続していることなどから、対円で上昇しました。

インドルピーは、原油などの輸入価格が安定的に推移したことやインフレ率が低下傾向にあることなどから、対円で上昇しました。

ニュージーランドドルは、中銀が積極的な利上げを行ったことなどから、対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ アジア・パシフィック・ソブリン・オープン（毎月決算型）

アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象としており、実質的な運用はマザーファンドで行っています。

▶ アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド 債券戦略

日本を除くアジア諸国・地域とパシフィック諸国のソブリン債券（国債、政府保証債、国際機関債などをいいま

す。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用しました。

インドネシアルピア建てやインドルピー建てなどの債券組入比率を高めとしました。

通貨戦略

外貨建資産について、対円での為替ヘッジは行いませんでした。なお、資本規制のあるアジア諸国の通貨については、通

貨比率の調整のために直物為替先渡取引（NDF）を使用しました。

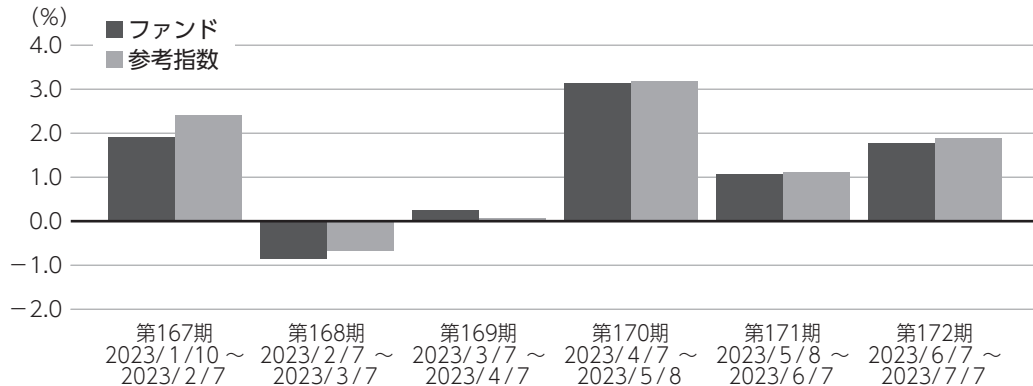
※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。

インドルピーやインドネシアルピア、タイバーツなどの通貨組入比率を高めとしました。

第167期～第172期：2023/1/11～2023/7/7

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数は、アジア・パシフィック国債インデックス（円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第167期 2023年1月11日~ 2023年2月7日	第168期 2023年2月8日~ 2023年3月7日	第169期 2023年3月8日~ 2023年4月7日	第170期 2023年4月8日~ 2023年5月8日	第171期 2023年5月9日~ 2023年6月7日	第172期 2023年6月8日~ 2023年7月7日
当期分配金 （対基準価額比率）	20 (0.261%)	20 (0.264%)	20 (0.264%)	20 (0.257%)	20 (0.255%)	20 (0.251%)
当期の収益	20	13	17	20	20	20
当期の収益以外	—	6	2	—	—	—
翌期繰越分配対象額	261	255	253	258	263	268

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ アジア・パシフィック・ソブリン・オープン（毎月決算型）

引き続き、アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を引き続き高位に保ち運用を行っていく方針です。

▶ アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド

相対的に金利水準の高いインドネシアルピア建てやインドルピー建てなどの債券組入比率を高く維持し、安定的な利子収入の確保を目指します。

相対的に高金利通貨であるインドネシアやインド、観光業が回復傾向にあるタイなどの通貨組入比率を高めとする予定です。

利息収入と債券価格の変動を考慮して、当面のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は期間末と概ね同程度とする予定です。デュレーションを調整するために、債券先物を使用する場合があります。

外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。通貨比率の調整方法として、直物為替先渡取引などの為替取引を行います。

2023年1月11日～2023年7月7日

1万口当たりの費用明細

項目	第167期～第172期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	62	0.803	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(35)	(0.460)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(25)	(0.321)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	3	0.043	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.041)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	65	0.847	

作成期中の平均基準価額は、7,677円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

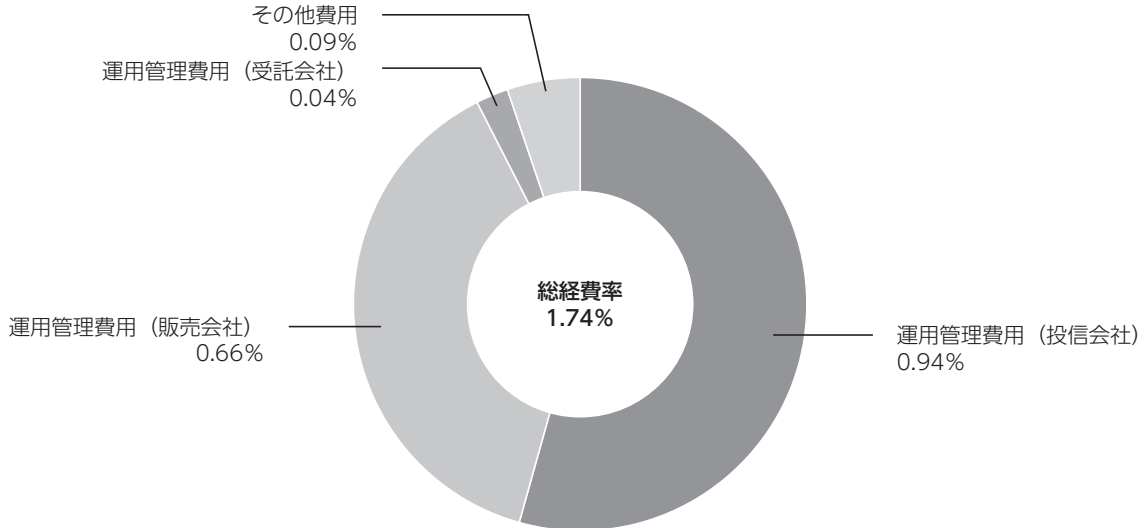
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.74%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月11日～2023年7月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第167期～第172期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
アジア・パシフィック・ソブリン・オープン	マザーファンド	14,130	43,271	139,278	417,888

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月11日～2023年7月7日)

利害関係人との取引状況

<アジア・パシフィック・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド>

区 分	第167期～第172期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	1,940	1,940	100.0	1,932	1,932	100.0
為替直物取引	2,444	—	—	2,807	22	0.8

平均保有割合 95.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2023年7月7日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第166期末	第172期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
アジア・パシフィック・ソブリン・オープン	マザーファンド	2,248,222	2,123,074	6,675,157

○投資信託財産の構成

(2023年7月7日現在)

項 目	第172期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド	6,675,157	99.3
コール・ローン等、その他	50,112	0.7
投資信託財産総額	6,725,269	100.0

(注) アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（6,952,058千円）の投資信託財産総額（7,013,070千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=144.15円	1 オーストラリアドル=95.43円	1 ニュージーランドドル=88.72円	1 シンガポールドル=106.53円
1 マレーシアリングギット=30.8692円	1 タイバーツ=4.08円	1 フィリピンペソ=2.5969円	100インドネシアルピア=0.96円
100韓国ウォン=11.04円	1 インドルピー=1.75円	1 中国元=19.8808円	

○特定資産の価格等の調査

(2023年1月11日～2023年7月7日)

<アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド>

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	3

当作成期に、アジア・パシフィック・ソブリン・オープン（毎月決算型）の主要投資対象であるアジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末
	2023年2月7日現在	2023年3月7日現在	2023年4月7日現在	2023年5月8日現在	2023年6月7日現在	2023年7月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	6,638,558,435	6,551,091,080	6,516,541,284	6,661,862,746	6,638,033,071	6,725,269,931
コール・ローン等	44,452,132	44,606,858	45,729,152	44,489,376	46,100,219	47,371,908
アジア・パシフィック・ソブリン・オープン 債券ファンド(信託)	6,590,682,121	6,502,183,439	6,466,581,783	6,614,746,963	6,589,383,803	6,675,157,585
未収入金	3,424,182	4,300,783	4,230,349	2,626,407	2,549,049	2,740,438
(B) 負債	27,887,504	29,396,361	30,619,952	27,062,896	28,829,876	29,876,355
未払収益分配金	17,320,546	17,280,614	17,190,217	17,096,291	16,894,631	16,860,552
未払解約金	2,241,633	3,806,122	4,346,950	765,152	2,967,014	3,912,882
未払信託報酬	8,303,113	8,287,456	9,058,556	9,176,912	8,944,310	9,078,636
未払利息	79	79	81	79	82	84
その他未払費用	22,133	22,090	24,148	24,462	23,839	24,201
(C) 純資産総額(A-B)	6,610,670,931	6,521,694,719	6,485,921,332	6,634,799,850	6,609,203,195	6,695,393,576
元本	8,660,273,102	8,640,307,133	8,595,108,721	8,548,145,907	8,447,315,921	8,430,276,309
次期繰越損益金	△2,049,602,171	△2,118,612,414	△2,109,187,389	△1,913,346,057	△1,838,112,726	△1,734,882,733
(D) 受益権総口数	8,660,273,102口	8,640,307,133口	8,595,108,721口	8,548,145,907口	8,447,315,921口	8,430,276,309口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,633円	7,548円	7,546円	7,762円	7,824円	7,942円

○損益の状況

項 目	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期	第172期
	2023年1月11日～ 2023年2月7日	2023年2月8日～ 2023年3月7日	2023年3月8日～ 2023年4月7日	2023年4月8日～ 2023年5月8日	2023年5月9日～ 2023年6月7日	2023年6月8日～ 2023年7月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,208	△ 1,201	△ 1,380	△ 1,490	△ 1,313	△ 1,339
支払利息	△ 1,208	△ 1,201	△ 1,380	△ 1,490	△ 1,313	△ 1,339
(B) 有価証券売買損益	132,702,630	△ 48,121,120	24,528,731	210,495,259	78,427,990	124,837,104
売買益	133,266,483	199,882	25,226,421	211,183,528	78,727,894	126,019,126
売買損	△ 563,853	△ 48,321,002	△ 697,690	△ 688,269	△ 299,904	△ 1,182,022
(C) 信託報酬等	△ 8,325,246	△ 8,309,546	△ 9,082,704	△ 9,201,374	△ 8,968,149	△ 9,102,837
(D) 当期損益金 (A + B + C)	124,376,176	△ 56,431,867	15,444,647	201,292,395	69,458,528	115,732,928
(E) 前期繰越損益金	△ 830,490,501	△ 720,524,181	△ 782,642,877	△ 776,635,556	△ 584,573,457	△ 528,128,380
(F) 追加信託差損益金	△1,326,167,300	△1,324,375,752	△1,324,798,942	△1,320,906,605	△1,306,103,166	△1,305,626,729
(配当等相当額)	(225,186,545)	(224,686,815)	(219,238,891)	(216,407,172)	(213,889,672)	(213,524,555)
(売買損益相当額)	(△1,551,353,845)	(△1,549,062,567)	(△1,544,037,833)	(△1,537,313,777)	(△1,519,992,838)	(△1,519,151,284)
(G) 計 (D + E + F)	△2,032,281,625	△2,101,331,800	△2,091,997,172	△1,896,249,766	△1,821,218,095	△1,718,022,181
(H) 収益分配金	△ 17,320,546	△ 17,280,614	△ 17,190,217	△ 17,096,291	△ 16,894,631	△ 16,860,552
次期繰越損益金 (G + H)	△2,049,602,171	△2,118,612,414	△2,109,187,389	△1,913,346,057	△1,838,112,726	△1,734,882,733
追加信託差損益金	△1,326,167,300	△1,328,695,906	△1,326,517,964	△1,320,906,605	△1,306,103,166	△1,305,626,729
(配当等相当額)	(225,203,419)	(220,388,867)	(217,594,740)	(216,436,129)	(213,911,763)	(213,612,894)
(売買損益相当額)	(△1,551,370,719)	(△1,549,084,773)	(△1,544,112,704)	(△1,537,342,734)	(△1,520,014,929)	(△1,519,239,623)
分配準備積立金	1,561,227	733,727	612,947	4,867,291	8,424,997	12,371,371
繰越損益金	△ 724,996,098	△ 790,650,235	△ 783,282,372	△ 597,306,743	△ 540,434,557	△ 441,627,375

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 8,715,781,541円
 作成期中追加設定元本額 135,501,485円
 作成期中一部解約元本額 421,006,717円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7942円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,734,882,733円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2023年1月11日～ 2023年2月7日	2023年2月8日～ 2023年3月7日	2023年3月8日～ 2023年4月7日	2023年4月8日～ 2023年5月8日	2023年5月9日～ 2023年6月7日	2023年6月8日～ 2023年7月7日
費用控除後の配当等収益額	18,690,155円	12,090,439円	15,302,217円	21,353,794円	20,437,656円	20,855,378円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	225,203,419円	224,709,021円	219,313,762円	216,436,129円	213,911,763円	213,612,894円
分配準備積立金額	191,618円	1,603,748円	781,925円	609,788円	4,881,972円	8,376,545円
当ファンドの分配対象収益額	244,085,192円	238,403,208円	235,397,904円	238,399,711円	239,231,391円	242,844,817円
1万円当たり収益分配対象額	281円	275円	273円	278円	283円	288円
1万円当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	20円	20円
収益分配金金額	17,320,546円	17,280,614円	17,190,217円	17,096,291円	16,894,631円	16,860,552円

○分配金のお知らせ

	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期	第172期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド

《第29期》決算日2023年7月7日

[計算期間：2023年1月11日～2023年7月7日]

「アジア・パシフィック・ソブリン・オープン マザーファンド」は、7月7日に第29期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第29期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	日本を除くアジア諸国・地域とパシフィック諸国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	日本を除くアジア諸国・地域とパシフィック諸国のソブリン債券および準ソブリン債券
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外貨建資産への投資は、制限を設けません。 ・ ソブリン債券以外への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・ 同一企業が発行する債券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・ 同一通貨への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の30%以内とします。 ・ 同一国・地域が発行する債券への投資は、取得時において、信託財産の純資産総額の30%以内とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) アジア・パシフィック国債インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
25期(2021年7月7日)	26,729	2.1	23,830	1.9	96.5	△0.0	8,283
26期(2022年1月7日)	27,487	2.8	24,258	1.8	95.8	1.3	7,667
27期(2022年7月7日)	28,903	5.2	25,463	5.0	96.0	△2.1	7,369
28期(2023年1月10日)	29,026	0.4	25,633	0.7	95.8	—	6,789
29期(2023年7月7日)	31,441	8.3	27,730	8.2	94.8	3.5	6,999

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、F T S E 世界国債インデックスの現地通貨建て国別サブインデックス (シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾、タイ、オーストラリア、ニュージーランド、中国) の基準日前営業日の各指数と J. P. Morgan GBI-EM Broad India (インド・ルビー建て、ヘッジなし) の基準日前営業日指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえ等ウェイトで合成し、当ファンド設定日を10,000として指数化したものです。なお、2022年8月1日以降、参考指数の国別サブインデックスの内、台湾を外し中国を追加して連続させて指数化しています。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J. P. Morgan GBI-EM Broad India (インド・ルビー建て、ヘッジなし)：情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) アジア・パシフィック国債インデックス (円ベース)		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率				
(期 首) 2023年 1月10日	円	%		%	%		%	
	29,026	—	25,633	—	95.8		—	
1 月 末	29,477	1.6	26,117	1.9	96.8		—	
2 月 末	29,357	1.1	26,026	1.5	97.1		—	
3 月 末	29,733	2.4	26,296	2.6	96.2		—	
4 月 末	29,910	3.0	26,424	3.1	96.1		1.5	
5 月 末	30,693	5.7	27,102	5.7	96.0		2.4	
6 月 末	31,761	9.4	27,979	9.2	93.5		2.6	
(期 末) 2023年 7月 7日	31,441	8.3	27,730	8.2	94.8		3.5	

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

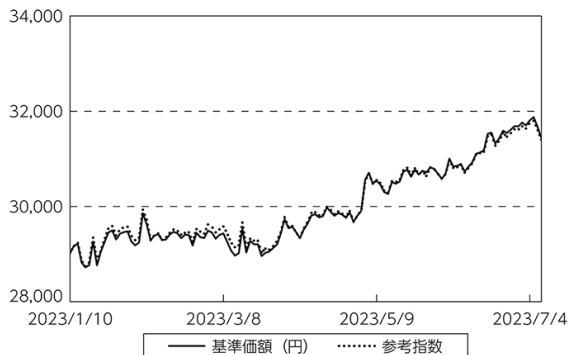
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

全ての投資通貨が対円で上昇したことやインドネシアの金利が低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

シンガポールやニュージーランド、オーストラリアなどの金利が上昇したことが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・投資対象国・地域の金利はまちまちな動きでした。
- ・インドネシアでは、インフレ率が低下傾向にあり、中銀が2023年1月に利上げを行った後、政策金利を維持したことなどから、金利は低下しました。
- ・タイでは、中銀が利上げを行ったことや観光業の回復などから景気回復期待が高止まり、金利は上昇しました。
- ・オーストラリアでは、物価の高止まりにより中銀が利上げを継続したことなどから、金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・投資対象国・地域の通貨は対円で上昇しました。
- ・インドネシアルピアは、インフレ率が低下傾向にあり、経常収支の黒字が継続していることなどから、対円で上昇しました。
- ・インドルピーは、原油などの輸入価格が安定的に推移したことやインフレ率が低下傾向にあることなどから、対円で上昇しました。
- ・ニュージーランドドルは、中銀が積極的な利上げを行ったことなどから、対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎債券戦略

- ・日本を除くアジア諸国・地域とパシフィック諸国のソブリン債券（国債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用しました。
- ・インドネシアルピア建てやインドルピー建てなどの債券組入比率を高めとしました。

◎通貨戦略

- ・外貨建資産について、対円で為替ヘッジは行いませんでした。なお、資本規制のあるアジア諸国の通貨については、通貨比率の調整のために直物為替先渡取引（NDF）を使用しました。
※直物為替先渡取引とは、一種の外国為替先渡取引であり、決済時に元本の受け渡しを行わずに、取引時に決定した取引レートと決済レートの差および元本により計算した額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。
- ・インドルピーやインドネシアルピア、タイバーツなどの通貨組入比率を高めとしました。

◎今後の運用方針

- ・相対的に金利水準の高いインドネシアルピア建てやインドルピー建てなどの債券組入比率を高く維持し、安定的な利子収入の確保を目指します。
- ・相対的に高金利通貨であるインドネシアやインド、観光業が回復傾向にあるタイなどの通貨組入比率を高めとする予定です。
- ・利息収入と債券価格の変動を考慮して、当面のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は期間末と概ね同程度とする予定です。デュレーションを調整するために、債券先物を使用する場合があります。
- ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。通貨比率の調整方法として、直物為替先渡取引などの為替取引を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 1月11日～2023年 7月 7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	12 (12)	0.041 (0.041)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	12	0.042	
期中の平均基準価額は、30,011円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月11日～2023年7月7日)

公社債

		買付額		売付額		
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 191	千アメリカドル —	—	
		特殊債券	1,012	—	—	
		社債券	—	—	990	
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 380	—	
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 1,100	千ニュージーランドドル —	—	
		地方債証券	—	—	950	
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 579	千シンガポールドル 1,786	—	
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングギット —	千マレーシアリングギット 4,038	—	
	タイ	国債証券	千タイバーツ —	千タイバーツ 9,545	—	
	国	フィリピン	国債証券	千フィリピンペソ —	千フィリピンペソ 32,546	—
		インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 3,114,000	千インドネシアルピア —	—
		韓国	国債証券	千韓国ウォン 1,638,063	千韓国ウォン 2,224,679	—
インド		国債証券	千インドルピー 146,172	千インドルピー —	—	
中国		国債証券	千中国元 16,994	千中国元 25,094	—	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注) 社債券には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	債券先物取引	百万円 407	百万円 170	百万円 —	百万円 —

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

スワップ及び先渡取引状況

種 類	取 引 契 約 金 額
直物為替先渡取引	百万円 244

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月11日～2023年7月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	1,940	1,940	100.0	1,932	1,932	100.0
為替直物取引	2,444	—	—	2,807	22	0.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2023年7月7日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 2,600	千アメリカドル 2,582	千円 372,299	% 5.3	% 0.8	% 4.1	% —	% 1.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 6,400	千オーストラリアドル 5,587	533,190	7.6	—	7.6	—	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 9,500	千ニュージーランドドル 8,011	710,740	10.2	—	7.8	2.4	—
シンガポール	千シンガポールドル 4,700	千シンガポールドル 4,599	490,005	7.0	—	7.0	—	—
マレーシア	千マレーシアリンギット 21,000	千マレーシアリンギット 21,790	672,659	9.6	—	9.6	—	—
タイ	千タイバーツ 120,000	千タイバーツ 123,628	504,405	7.2	—	7.2	—	—
フィリピン	千フィリピンペソ 235,000	千フィリピンペソ 225,847	586,503	8.4	—	6.7	1.6	—
インドネシア	千インドネシアルピア 96,000,000	千インドネシアルピア 98,314,891	943,822	13.5	—	7.5	5.6	0.4
韓国	千韓国ウォン 5,100,000	千韓国ウォン 4,834,750	533,756	7.6	—	5.7	1.9	—
インド	千インドルピー 500,000	千インドルピー 503,797	881,646	12.6	—	11.4	1.2	—
中国	千中国元 20,000	千中国元 20,405	405,681	5.8	—	5.8	—	—
合 計	—	—	6,634,711	94.8	0.8	80.4	12.8	1.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 期 額 面 金 額	期 末 評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	4.8	400	393	56,650	2024/11/19
		—	100	96	13,886	2024/3/21
		—	100	95	13,763	2024/5/16
	特殊債券	5.5	1,000	989	142,628	2033/1/18
	社債券	6.15	1,000	1,008	145,369	2028/12/6
小	計				372,299	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	3.25	1,400	1,230	117,417	2039/6/21
		3.75	500	474	45,272	2037/4/21
	特殊債券	2.0	1,000	831	79,356	2031/3/20
		2.0	2,000	1,518	144,875	2034/10/24
		5.4	1,500	1,532	146,268	2028/11/15
小	計				533,190	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券	1.5	1,000	793	70,377	2031/5/15
		1.75	700	437	38,853	2041/5/15
		2.75	1,700	1,342	119,082	2037/4/15
		3.0	1,000	914	81,129	2029/4/20
	地方債証券	3.338	2,000	1,876	166,488	2026/7/27
		3.5	3,100	2,646	234,809	2033/4/14
小	計				710,740	
シンガポール			千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	2.25	1,300	1,188	126,578	2036/8/1
		2.375	500	465	49,578	2039/7/1
		2.75	300	304	32,438	2046/3/1
		2.875	400	393	41,887	2030/9/1
		3.375	2,200	2,248	239,522	2033/9/1
小	計				490,005	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	3.885	9,000	9,021	278,487	2029/8/15
		4.642	11,000	11,695	361,038	2033/11/7
		4.736	1,000	1,073	33,133	2046/3/15
小	計				672,659	
タイ			千タイバーツ	千タイバーツ		
	国債証券	1.585	20,000	17,705	72,239	2035/12/17
		1.6	30,000	28,624	116,788	2029/12/17
		3.775	70,000	77,298	315,377	2032/6/25
小	計				504,405	
フィリピン			千フィリピンペソ	千フィリピンペソ		
	国債証券	5.75	45,000	44,031	114,346	2028/3/7
		6.25	190,000	181,815	472,157	2036/1/14
小	計				586,503	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券	6.125	20,000,000	20,202,000	193,939	2028/5/15

銘柄	当期末					
	利率	額面金額	評価額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
インドネシア		%	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア	千円	
国債証券	6.5 INDONESIA 250615	6.5	3,000,000	3,027,000	29,059	2025/6/15
	6.625 INDONESIA 330515	6.625	50,000,000	51,191,460	491,438	2033/5/15
	7 INDONESIA 270515	7.0	20,000,000	20,766,000	199,353	2027/5/15
	7 INDONESIA 300915	7.0	3,000,000	3,128,431	30,032	2030/9/15
小計					943,822	
韓国			千韓国ウォン	千韓国ウォン		
国債証券	1.5 KOREA TREASUR 261210	1.5	300,000	279,299	30,834	2026/12/10
	1.5 KOREA TREASUR 301210	1.5	1,200,000	1,029,847	113,695	2030/12/10
	2.625 KOREA TREAS 280610	2.625	1,000,000	953,208	105,234	2028/6/10
	3.25 KOREA TREASU 530310	3.25	600,000	554,568	61,224	2053/3/10
	3.375 KOREA TREAS 320610	3.375	1,000,000	974,934	107,632	2032/6/10
	4.25 KOREA TREASU 321210	4.25	1,000,000	1,042,891	115,135	2032/12/10
小計					533,756	
インド			千インドルピー	千インドルピー		
国債証券	5.74 INDIA GOVT 261115	5.74	50,000	48,000	84,000	2026/11/15
	5.79 INDIA GOVT 300511	5.79	100,000	92,946	162,657	2030/5/11
	6.54 INDIA GOVT 320117	6.54	50,000	48,025	84,043	2032/1/17
	7.26 INDIA GOVT 320822	7.26	50,000	50,265	87,963	2032/8/22
	7.59 INDIA GOVT 290320	7.59	50,000	50,819	88,934	2029/3/20
	8.28 INDIA GOVT 320215	8.28	200,000	213,741	374,047	2032/2/15
小計					881,646	
中国			千中国元	千中国元		
国債証券	2.6 CHINA GOVT 320901	2.6	2,000	1,982	39,408	2032/9/1
	2.62 CHINA GOVT 290925	2.62	7,000	7,002	139,207	2029/9/25
	2.69 CHINA GOVT 320815	2.69	7,000	6,988	138,937	2032/8/15
	3.53 CHINA GOVT 511018	3.53	1,000	1,081	21,506	2051/10/18
	3.72 CHINA GOVT 510412	3.72	3,000	3,351	66,622	2051/4/12
小計					405,681	
合計					6,634,711	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 社債券には政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券が含まれております。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	当期末	
	買建額	売建額
外国債券先物取引	百万円 244	百万円 -

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

スワップ及び先渡取引残高

種 類	取 引 契 約 残 高
	当期末想定元本額
直物為替先渡取引	百万円 245

○投資信託財産の構成

(2023年7月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,634,711	% 94.6
コール・ローン等、その他	378,359	5.4
投資信託財産総額	7,013,070	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (6,952,058千円) の投資信託財産総額 (7,013,070千円) に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=144.15円	1 オーストラリアドル=95.43円	1 ニュージーランドドル=88.72円	1 シンガポールドル=106.53円
1 マレーシアリンギット=30.8692円	1 タイバーツ=4.08円	1 フィリピンペソ=2.5969円	100インドネシアルピア=0.96円
100韓国ウォン=11.04円	1 インドルピー=1.75円	1 中国元=19.8808円	

○特定資産の価格等の調査

(2023年1月11日～2023年7月7日)

特 定 資 産 の 種 類	件 数
直物為替先渡取引	3

当期に、当ファンドにおいて行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」第11条に基づき価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた有限責任監査法人へその調査を委託し、調査報告書を受領しました。当該取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、売買別、想定元本、満期日、その他当該取引の内容に関することについて調査を依頼しました。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,599,544,568
コール・ローン等	193,618,703
公社債(評価額)	6,634,711,788
未収入金	632,373,369
未収利息	65,636,699
前払費用	9,126,755
差入委託証拠金	64,077,254
(B) 負債	600,167,930
未払金	568,583,534
未払解約金	2,754,302
未払利息	94
差入委託証拠金代用有価証券	28,830,000
(C) 純資産総額(A-B)	6,999,376,638
元本	2,226,172,245
次期繰越損益金	4,773,204,393
(D) 受益権総口数	2,226,172,245口
1万口当たり基準価額(C/D)	31,441円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,339,253,996円
 期中追加設定元本額 32,018,471円
 期中一部解約元本額 145,100,222円
 また、1口当たり純資産額は、期末3,1441円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

アジア・パシフィック・ソブリン・オープン(毎月決算型)	2,123,074,198円
アジア・パシフィック・ソブリン・オープン(年2回決算型)	103,098,047円
合計	2,226,172,245円

[お知らせ]

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

○損益の状況 (2023年1月11日～2023年7月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	143,129,145
受取利息	143,149,924
支払利息	△ 20,779
(B) 有価証券売買損益	413,717,532
売買益	524,116,816
売買損	△ 110,399,284
(C) 先物取引等取引損益	△ 7,733,255
取引益	105,630
取引損	△ 7,838,885
(D) 保管費用等	△ 2,941,941
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	546,171,481
(F) 前期繰越損益金	4,450,611,942
(G) 追加信託差損益金	66,441,426
(H) 解約差損益金	△ 290,020,456
(I) 計(E+F+G+H)	4,773,204,393
次期繰越損益金(I)	4,773,204,393

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。